

市民館に市役所の行政職員を配置する考えは

校区まちづくりアドバイザーの活用で対応
職員を配置する考えはない

一問一答方式



大竹 正章 議員
市民クラブ

地域医療を守るため必要な施策とは

- 問** 現在の市内の医療体制をどう認識しているか。
- 答** 公的病院の医師不足・地域の診療所の減少という大きな課題を抱え、早急な対応が必要である。
- 問** 本市に必要な医療体制をどう定義づけるのか。
- 答** 公的病院は総合病院としての機能を十分に発揮し、診療所は病院や行政との連携を密にし、かかりつけ医を中心とした切れ目のない医療、介護を提供できる体制である。
- 問** 目指すべき地域医療の体制とは。
- 答** 住みなれた土地で安心して生活できるよう、診療所・公的病院の機能の充実を図り、必要に応じて、適切な医療が受けられる体制づくりを目指す。



地域コミュニティと市民協働を生かす施策とは

- 問** 地域課題は市役所内でどのように共有されているのか。
- 答** 校区コミュニティ協議会ごとに校区まちづくり推進計画が策定されており、地域の現状、課題や将来像を共有している。
- 問** 市民館からコミュニティセンターに移行し、複合的な行政サービスを実践している先進例について、どのように評価をしているか。
- 答** 市の出張所などを設け、住民票や印鑑証明の交付ができる市もある。自宅に近い場所でのサービスは、メリットと考えている。
- 問** 再任用職員を含め、市民館に市から行政職員を配置する考えはないか。
- 答** 配置する考えはない。校区へのアドバイス・市とのパイプ役として配置している校区まちづくりアドバイザーの職員を活用することで対応する。



- 問** システムの運用に際し、届いた情報を市役所担当課内で情報共有することに問題ないのか。
- 答** 職員の間では問題なく情報の共有が可能である。
- 問** 半田市では、市民からの情報が少ないということだが、増やす取り組みとして、サポーター制度導入の考えは。導入すると決まっていけないので、現在は未定。まちづくりに積極的に活動している団体もあり、今後検討する中で仕組みづくりを考えたい。
- 答** 半田市では、市民からの情報が少ないということだが、増やす取り組みとして、サポーター制度導入の考えは。導入すると決まっていけないので、現在は未定。まちづくりに積極的に活動している団体もあり、今後検討する中で仕組みづくりを考えたい。